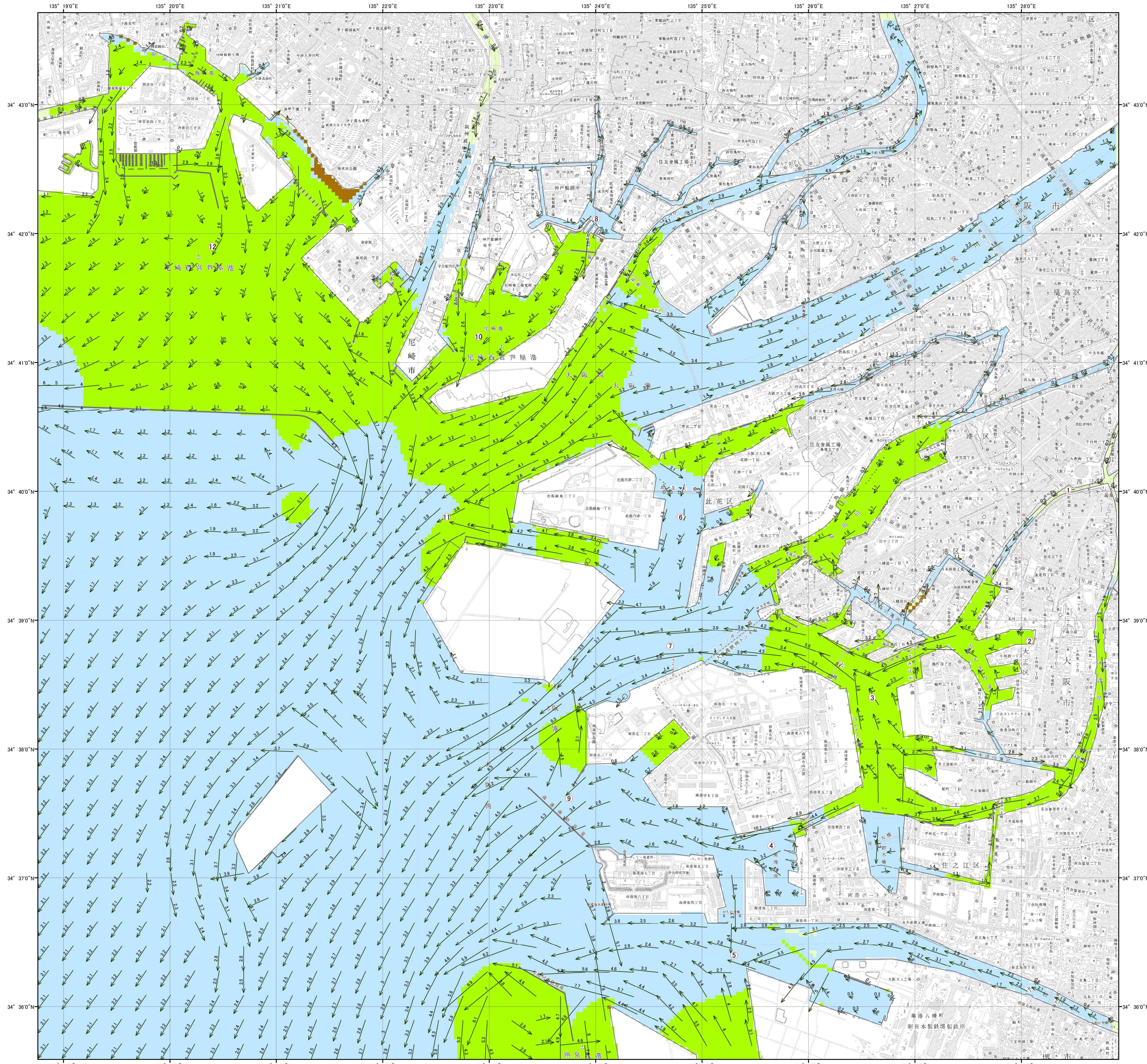


阪神港大阪区 津波防災情報図（引潮図）

計算条件：最低水面（零位）
 隆起量：平均 -0.15m(-0.21m ~ -0.05m)
 Zo：0.95m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

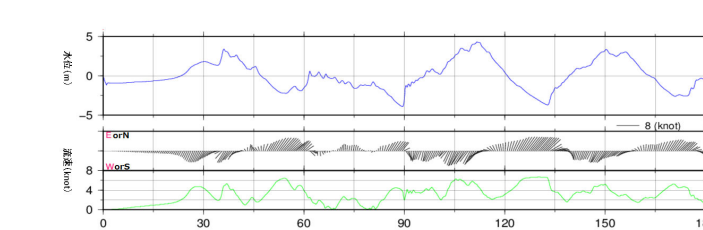
最大水位低下

- 2~最大2.8m
- 0.5~2m
- 0.5未満

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を個別の経時変化図で示す。)

水位、流向・流速経時変化図

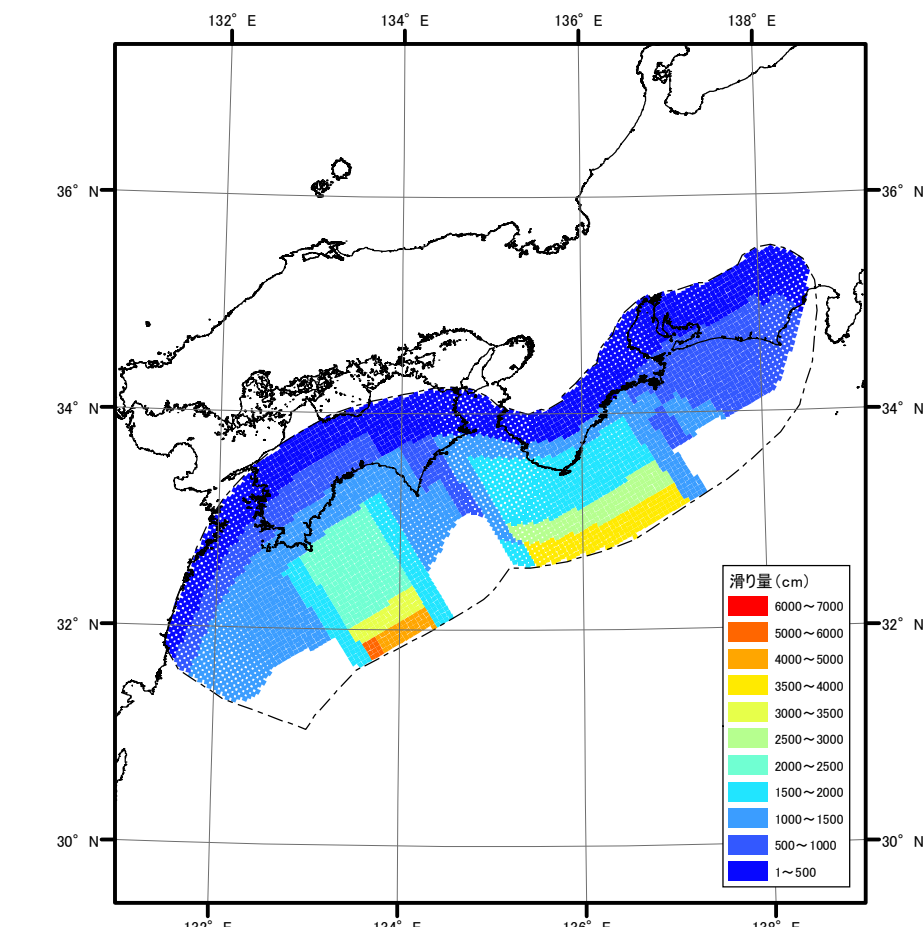


引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



ケース⑩「三重県南沖～徳島県沖と足摺沖に『大すべり域+超すべり域』

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N・m)	6.4 × 10 ²⁷
平均すべり量 D (m)	10.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)及び数値地図25000(地図画像)
 (国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

